



学校だより

清瀬市立清瀬第三中学校 5月号

〒204-0002 清瀬市旭が丘1-262

<http://www.kiyose.ed.jp/>

kiyosedaisantyuugakkou/index/html

「知る」ことの大切さ

校長 梅木 仁

新しい学年、クラスにはもう慣れましたか？全員の顔と名前を覚えられましたか？クラス、学年、学校、そして社会で共に生活していくにはまず、「お互いのことを知る」ことが大切です。

突然ですが「介助犬」について知っていますか？介助犬とは、手や足の不自由な人を助ける犬です。目の不自由な人を助ける「盲導犬」は知っている人が多いと思います。街で見かけたことがあるかもしれません。5月22日は『ほじょ犬の日』でした。2022年の今年には「身体障害者補助犬法」の成立から20年という記念の年にあたります。では、私たちはこの「補助犬」についてどのくらい知っているのでしょうか。「日本補助犬情報センター」のHPにある「ほじょ犬クイズに挑戦」のコーナーからいくつか紹介します。ぜひ、挑戦してみてください。

Q1: 補助犬の種類の正しい組み合わせは？

- ①セラピー犬、盲導犬、介助犬、聴導犬 ②盲導犬、介助犬、聴導犬 ③警察犬、盲導犬、介助犬、聴導犬

A1: 正解② 身体障害者補助犬は「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」の3種の総称です。身体障害者補助犬法という法律によって定められていて、ユーザーさんによって適切に「衛生管理」「行動管理」されています。この法律に基づいて認定された補助犬たちは、ユーザーさんとどこでも一緒に行くことができます。レストランなどの飲食店はもちろん、スーパーや病院、図書館等、公共の施設や不特定多数の方が利用する施設には一緒に入ることができます。

Q2: 日本全国で活躍している介助犬の頭数は？

- ①約15000頭 ②約1000頭 ③約60頭

A2: 正解③ 意外と少ない?! と思った人も多いのではないのでしょうか。ちなみに②約1000頭は補助犬3種の実働数の合計です。(2021年10月現在: 盲導犬861頭 介助犬57頭 聴導犬61頭) 約60年の歴史のある盲導犬と比べ、介助犬は約25年と歴史が浅く、認知度も低く頭数も少ないのが現状です。日本には約176万人の肢体不自由者がおられますが、その中で介助犬を必要としている人の数は15000人とされています。

Q3: ほじょ犬ウェルカムステッカーの意味で正しいのはどれ？

- ① 補助犬が入っても良いお店だよ。 ② ユーザーさん、補助犬と安心してお店を利用してね。
③ 補助犬は入れないよ。



A3: 正解② 補助犬ステッカーの本当の意味は「ユーザーさん、補助犬と安心してお店を利用してね!」なのです。①と思った人も多いかもしれません。実は身体障害者補助犬法により、どんなお店、施設でも利用できることになっています。補助犬たちはお店や施設にご迷惑をおかけするようなことはありません。

どうでしたか。報道によると、補助犬法の認知度はまだ低く、多くの使用者が同伴拒否を経験しているそうです。日本介助犬使用者の会会長の木村佳友さんは次のように話しています。「子どもの頃に講演を聞いてくれた人は大人になっても優しく受け入れてくれる。学校で補助犬について学ぶ機会を増やせば、もっと浸透するのでは。」日本で3頭目の介助犬「シンシア」のユーザーであった木村さん、現在は介助犬デイジーと共に各地で講演しています。「20年前に法成立の瞬間を見届けて涙した。自由に外出できると思ったが20年たっても認知度が低い。これからも頑張っていけないといけない」

お互いを知ることで、理解は深まります。5月28日の運動会に向けて、各クラスでの取り組みが進んでいます。運動が得意な人も不得意な人も、お互いを知り、助け合い、良い仲間となるチャンスです。皆さんの活躍を期待しています。

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、希望に満ちた社会をめざす健康で明るく、知性ある人間を育成する。

- | | | | |
|---|---------------------|--------------------------------|------------|
| 1 | 思いやりのある生徒 | 心、思いやる力、(深く)考える力 | 思考力 |
| 2 | 主体的に学び 行動する生徒 . . . | (考えたことを)行動に移す力、
行動し続ける力、実践力 | 行動力 |

【キャッチフレーズ】

「一人一人が輝く三中」

□「思考力」を育てます。□「行動力」を育てます。□「人間力(じんかんりょく)」を育てます。

※ 人間(じんかん)とは、人と人との間の交流、人間関係をつくっていくということ。皆と協力しながら、それぞれがもつ良さを発揮して、課題解決していこうとする関係をつくる。

1 目指す学校像

◎ 生徒、教職員共に互いを認め合い、安心・安全に生活できる学校

- (1) 生徒にとって、いじめや体罰等がない、一人一人が大切にされる、生き生きと学べる学校
- (2) 保護者にとって、安心して我が子を任せられる、我が子の良いところを伸ばしてくれる学校
- (3) 地域にとって、教育活動が分かる、信頼できる、協力したくなる学校
- (4) 教職員にとって、働きがいがある学校

2 目指す生徒像

- (1) 人の気持ちや思いを深く考える力をもった、思いやりのある生徒
- (2) 考えたことを行動に移す力や、行動し続ける力をもった、自主性ある生徒
- (3) 礼儀正しく、心豊かで、よりよい人間関係を構築しようと、協力する生徒

3 育成したい力

- (1) 思考力 . . . 深く考える力、先を見通す力、判断する力、表現する力、生きて働く知識・技能
- (2) 行動力 . . . 主体的に考え、考えたことを実際に行動に移す力(持続発展の主体者となる力)、行動を継続する力(生涯学び続ける力)＝実践力
- (3) 人間力 . . . 各々の良さを発揮して、人間関係を構築する力

4 目指す教師像

- (1) 一時間一時間の授業で生徒に身に付けさせたい力を明確にし、生徒に考えさせ、生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることができる教師
- (2) 生徒の人権を尊重して、生徒一人一人を大切に、生徒から目標とされる教師(生徒一人一人に声をかける。＝挨拶プラス一言の実践)
- (3) 使命感にあふれ、常に前向きな姿勢で自己研鑽に励む教師

5 期待する家庭の姿

- (1) 基本的な生活習慣の育成に、当たり前前を努める家庭
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」で生活リズムの確立に努めている。
- (2) 子供の主体的な活動を見守り、好ましくない行動をきちんと叱る家庭
 - ・親として子育てに責任をもち、学校・地域との連携に積極的に取り組んでいる。
 - ・正しい人権尊重の意識を備え、自分や他者の人権を大切にしよう子供に伝えている。

6 期待する地域の姿

- (1) 生徒一人一人を地域の子どもとして大切にする地域
 - ・子どもの健全育成に積極的に取り組んでいる。
- (2) 学校との協働により、自らの教育力・自治能力を高めようとする地域
 - ・地域の子どもとしての意識を高め、共に育むため、学校との連携に努めている。

7 指導の重点

令和2・3年度東京都人権尊重教育推進校としての研究を活かし、保護者、地域の協力を得ながら、学校教育のあらゆる場面を捉えて生徒の人権意識を更に向上させる。

(1) 学習指導

校内研修を活用し各教科で指導法の工夫と改善を図る。タブレット端末等のICT機器を有効活用し、生徒に考えさせ、生徒に力を付ける授業、生徒にとって分かりやすい授業を組織的に展開する。また、補充学習として、定期考査前や放課後に質問教室等を計画し、実施する。

- ① 始まりと終わりの挨拶を徹底し(教員自らも)、チャイム授業を実施する。
- ② 毎時間の授業は、「本時のねらい」の明示とまとめでの「振り返り」を実践する。
- ③ 課題解決型の授業など、常に「考えさせる」授業を実践し、生徒に「一人で考えさせる」時間を確保して、思考力・判断力・表現力を身に付けさせていく。
- ④ 表現活動を重視し、ペア学習、グループ学習等、協働学習を実践する。
- ⑤ 互いの授業を見合う時間を設定し、授業改善を行い、授業力の向上を図る。

(2) 道徳教育

- ① 東京都道徳教育推進拠点校として研究した経験を活かし、道徳の授業を充実させ、豊かな人間性を育成する。
- ② 道徳教育推進教師を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開する。
- ③ 生命の尊重、人権尊重の精神を育成し、規範意識を醸成するとともに思いやりの心を育てる。

(3) 生徒指導

- ① 挨拶、身なり、時間など基本的な生活習慣を大切にし、社会のルールやマナー、規範意識を身に付けさせる。
- ② 生徒に奉仕活動や諸行事等の運営等に取り組みせ、成就感や達成感を味わわせる。(生徒会活動、委員会活動を活用し、計画・実行・振り返り(PDCA)を繰り返し行わせる。)

(4) キャリア教育

- ① 三年間を見通し、体験活動を中心に計画的に実践する。
- ② 「生き方を考えさせる指導」を進め、進路選択能力を高める。
- ③ 保護者との連携を図りながら、個に応じた進路指導を進める。

(5) 特別支援教育

- ① 特別支援教室担当教員やスクールカウンセラー、外部の専門機関等の専門性を活用し、特別な支援が必要な生徒に限らず、全生徒にとって適切且つ効果的な指導・支援を展開する。
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心に、特別な支援が必要な生徒、特別な支援が必要と思われる生徒の実態把握に努め、情報を共有し、早い段階から生徒の困り感に寄り添った指導・支援を進める。
- ③ 特別支援教育校内委員会をスクールカウンセラーの出勤日に合わせて開催する。スクールカウンセラーの専門性を生かした実践的な支援や、合理的な配慮の在り方を共有し、教職員の特別支援教育についての理解を深めるとともに支援技術の向上を図る。

(6) 安全指導

- ① 消防計画と関連付けた毎月の避難訓練と安全指導を充実させ、安全への意識向上を図る。(想定や避難経路、避難場所等、実際に災害が起きた場合に考えられる事態を具体的に検討し、生徒に身の安全を確保できる能力を身に付けさせる。)
- ② 町会や地域関係諸団体との連携・協力を深める。

(7) 部活動指導

- ① 同じ目標に向かって活動する中で豊かな人間関係を育む。
- ② 学校管理の下、大切な教育活動として位置付け、個性の伸長を全教職員で支援する。

(8) 小中連携教育

- ① 小学校との連携を進め、学力の基礎・基本の定着と向上を図る。
- ② 地域の小学校との円滑な接続を目指し、互いの学校行事等を活用するなど、積極的な連携事業を進める。

(9) 不登校対策

配置された不登校加配教員を効果的に活用し、組織的な不登校対策を展開する。

- ① 不登校の状況にある生徒と学校とのつながりを維持し、対人関係や学習等に対する不安を軽減するため、また、不登校を未然に防止するため、生徒の別室指導(ステップルーム)を充実させる。
- ② 家庭と子供の支援員やボランティア等を活用し、生徒の登校を支援するとともに家庭との連携を深める。

(10) 学校支援本部の設置・活用

学校支援本部を設置し、ボランティアを活用して地域との協働を進める。

8 地域・市民の信頼を深めるために

(1) 開かれた学校への取組

- ① 保護者、地域等からの要望、意見等については、適切かつ丁寧に耳を傾け、求められていることを的確に把握して迅速に対応する。初期対応を重視するとともに、安易な返答を控え、組織的に対応する。
- ② 青少年問題協議会地区委員会や自治会の行事等に積極的に参加し、地域等に生徒理解を深めさせる。
- ③ 保護者、地域にボランティアをお願いするとともに、魅力ある行事や学校公開、保護者会、学校ホームページ等をとおして学校の教育活動への理解を深めさせる。

(2) 服務事故の防止

教育公務員であることを自覚し、職務の厳正に努める。

- ① 体罰や、生徒の人権を尊重しない言動等を厳に慎み、教育公務員としての更なる信頼の構築に努める。
- ② 公費・私費会計、個人情報(電子データ・紙媒体)は適切に処理し、チェック体制を整える。
- ③ 備品を定期的に確認し、管理を徹底する。

(3) その他

- ① 文書作成の際は、起案から決済までの流れを徹底し、OJTを通して教員の資質の向上を図る。
- ② TPOにふさわしい身なり・服装、言動を心掛ける。学校は「公」の場であることを自覚する。
- ③ 清瀬市学校徴収金マニュアルに沿い、教材費等、適切な予算書を作成するとともに適正に執行する。

離任された教職員からのメッセージ

菊地由香利先生（養護）

みなさんお元気ですか？私は4月から中学校ではなく、小学校の保健室の先生となりました。中学校との違いにまだ慣れませんが、新鮮な毎日を送っています。

私は大学卒業後に養護教諭となり、初めての学校が三中でした。私が着任してからずっと、三中生は素直で優しい生徒ばかりで、いつも私自身が元気をもらっていたように感じます。

大切なのは「心身共に健康であること」です！みなさんが充実した学校生活を送ってくれることを願っています。

重光悠先生（国語科）

清瀬第三中学校には七年間お世話になりました。たくさんの生徒と出会い、多くの良い経験や感動をもらいました。新しい学校では挑戦の日々を送っています。大変疲れますし、勝手がわからず、失敗もします。それでも明日は頑張ろう、良い一日にしようという日々は楽しくもあります。

目標は活力をくれます。挑戦は人生を豊かにしてくれます。多感な十代の今、臆せず、どんどん新しい世界に飛び込んでいってください。

保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

藤井妙先生（英語科）

進級して1ヵ月が過ぎました。先輩として頼もしく立派になった2・3年生の姿が目に見え、何事にも真面目に一生懸命取り組む君達に英語を教えることは、私の大きな喜びでした。誰にでも優しく接し受け入れる君たちの温かさは、私にとって強い支えでした。異動して清瀬三中の素晴らしさを実感しています。同時に新しい考え方・やり方を学び成長する機会だと感じています。世界は広いです。君たちも視野を広げて積極的に動いてみてください。君たちもがむつ力と可能性は想像以上です。応援しています。今までありがとう。

関隆史先生（数学科）

皆さん、お久しぶりです。お元気ですか。私は少しずつではありますが新しい環境に慣れてきました。

さて、3年生の皆さん今年を受験があります。日々の学習に力を入れてください。毎日取り組むことが大切です。自分に負けずに頑張ってください。

2年生の皆さん、後期からは君たちが学校の中心となります。後輩たちの見本となる先輩になってください。長い間三中にはお世話になりました。活躍する場は違えど、お互い頑張りましょう。

梶川直子さん（事務共同実施支援職員）

三中から離れて1ヵ月が過ぎました。生徒の皆さんとふれあうことは少なかったけれど、緑豊かで心も豊かな三中が大好きでした。三中生の皆さんのますますのご健康と飛躍をお祈りしています。

佐藤幸さん（市事務）

三中のみなさん、お元気ですか？一年間という短い期間でしたが、みなさんと同じ時間を過ごすことができたことに感謝しています。放課後、事務室から見る校庭では、陸上部がトラックを走り練習をし、校舎の中からは、吹奏楽部の音、体育館から聞こえるボールの音などなど・・・このひと時が、好きでした。頑張るみなさんの姿は、私の励みになりました。楽しく、癒された一年間をありがとうございました。

まだまだ続くコロナ対策ですが、保護者のみなさま、先生及び職員のみなさまもご自愛ください。

松村信子さん（共同事務）

北校舎1階の共同事務室で4年間お世話になりました。生徒の皆さんと直接関わることは少なかったのですが、運動会の救護係や合唱コンクールの誘導の時に、皆さんとお話できるのはとても楽しかったです。本当にありがとうございました。今年は行事や部活動が思いっきりできるようになることを願っています。

離任された教職員の皆様、今までありがとうございました。

インターンシップ

5月19日～12月15日、明星大学の学生が教員の仕事を学びに毎週木曜日に来校します。

- ・宇井 大樹さん（国語）担当学級 1年C組
 - ・酒井 清香さん（理科）担当学級 2年A組
- よろしくお願ひします。

教育実習生

5月23日～6月10日、教育実習生が行われます。

- ・百崎 琴音さん（音楽）担当学級 2年C組
 - ・野崎 珠慧さん（保体）担当学級 1年A組
- よろしくお願ひします。